

シナジー推進決議の概要

2024年3月6日

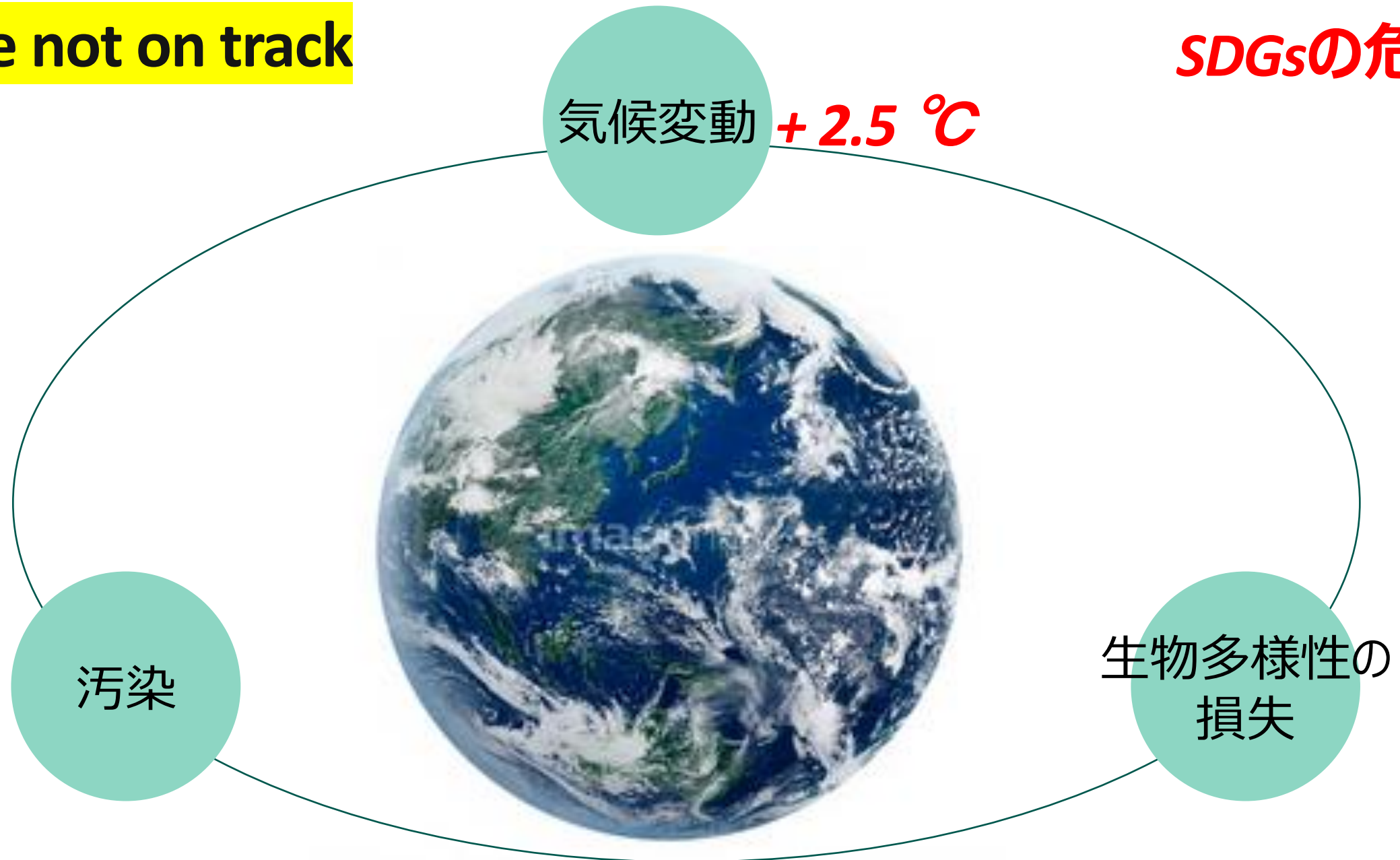
環境省 地球環境局 国際連携課長

川又 孝太郎

3つの地球的危機

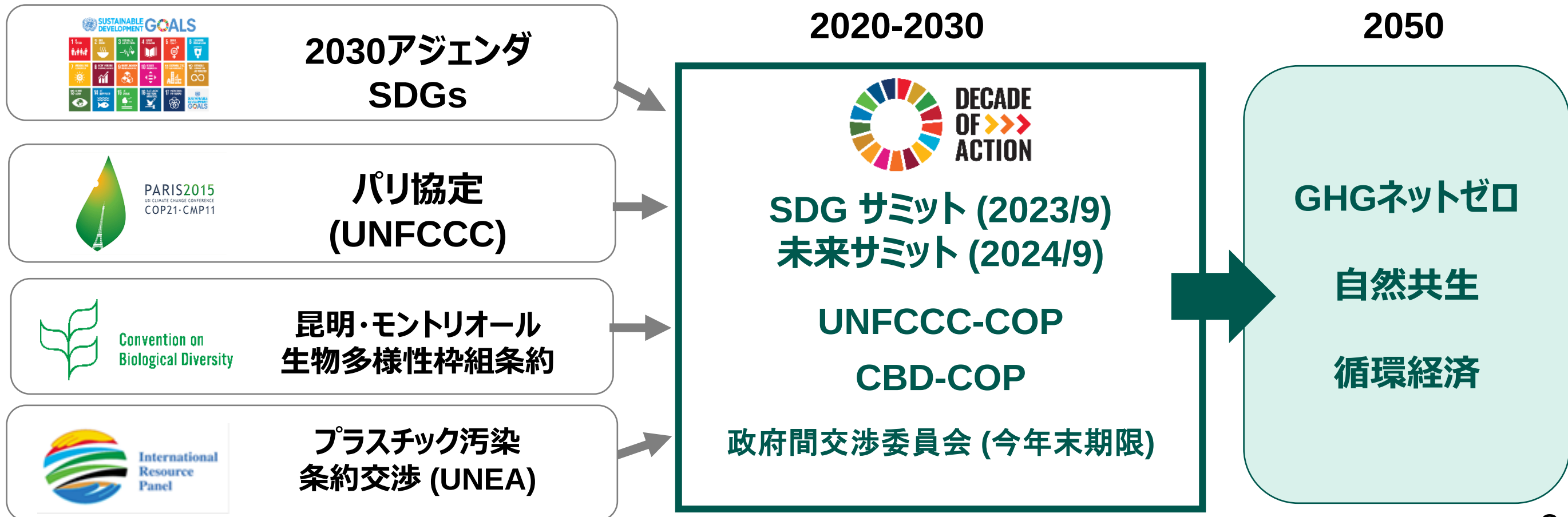
We are not on track

SDGsの危機

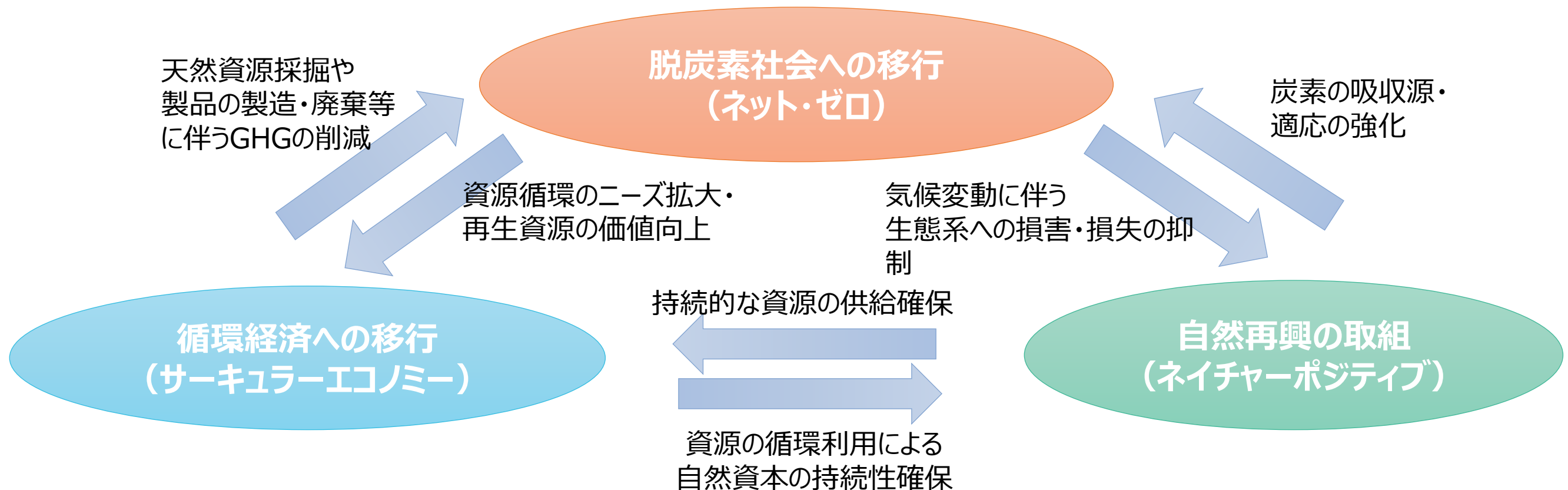


国際環境条約とSDGsの達成のために必要な行動

- 気候変動、生物多様性の損失、汚染、SDGsを同時に達成するために、**シナジーの創出によって、その進展を加速させる必要**がある



- G7広島サミットでは、**ネット・ゼロ、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの統合的アプローチ**（相乗効果の最大化、トレードオフの回避）、いわゆる**シナジー**の重要性を強調
- 我が国は、**地域循環共生圏（ローカルSDGs）**を推進してきており、国際的にも貢献可能



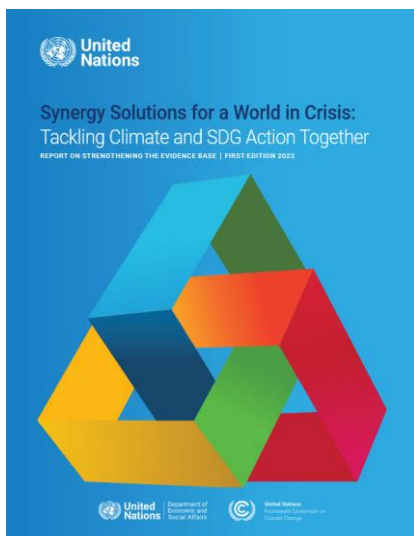
“シナジー”の重要性：専門家の認識

AR6 Synthesis Report



- ✓ 一般的に、多くの緩和・適応行動には、SDGsとの複数のシナジーが存在する
- ✓ SDGsとの潜在的シナジーは潜在的トレードオフを上回る

(気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第6次評価報告書)



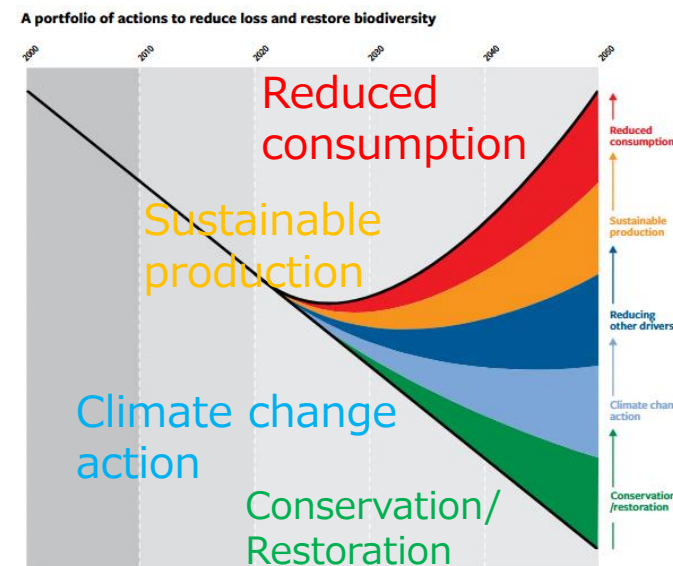
- ✓ 気候変動と“SDGsの危機”に対して、共に取り組むことで、Win-Winの相乗効果を追求することが、私たちが今辿っている道を正す唯一の方法である

(The First Global Report on Climate and SDGs Synergies)



- ✓ SDGs達成に向けた変革のための入り口となるさまざまな行動間のシナジーを最適化することの重要性

(The Global Sustainable Development Report 2023)



- ✓ 循環経済とゼロ・カーボンがネイチャー・ポジティブを実現するためのカギである

(The Global Biodiversity Outlook 2020)

“シナジー”はCOP28のグローバルストックテイクで合意

[前文] SDGsの達成という中で、**気候変動と生物多様性の損失という相互に関連した地球規模の危機に包括的かつシナジーのある方法で緊急に対処する必要**があることを強調する。

[緩和] 16 (a). 開発の道筋を持続可能にシフトさせる政策は、**開発目標とのシナジーの追求を可能にする**。

[国際協力] 163. **パリ協定の長期目標やSDGsの達成をシナジーがあり効率的な方法で達成する**ため、各国に国際環境条約の実施に関する協力強化を奨励する。

第3回 パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議



@国連大学（2022年7月3日）

CLIMATE & SDGS
CONFERENCE

16 JULY 2023
UN HEADQUARTERS
NEW YORK



Key take away

1. 気候変動対策、環境対策、SDGsの間の**縦割りを打破し、シナジーを強化することが重要**
2. **科学的知見を基に、シナジーのある行動の強化**及び、シナジーに関する世界報告書の作成を行う専門家グループの組織
3. **マルチステークホルダーでの対話**の開催
4. 政策の一貫性と統合計画の強化
5. 統合的アプローチとシナジー行動を強化するための政府間プロセスの活用

国連環境総会*でのシナジー推進決議案提出の理由



* 国連環境総会（UNEA）は、国連総会の補助機関であり、国連環境計画（UNEP）の最高意思決定機関

1

シナジーを高めることが“3つの危機”を克服するカギであるという共通認識を醸成し、各国に2030年までのSDGs達成の努力を促す

2

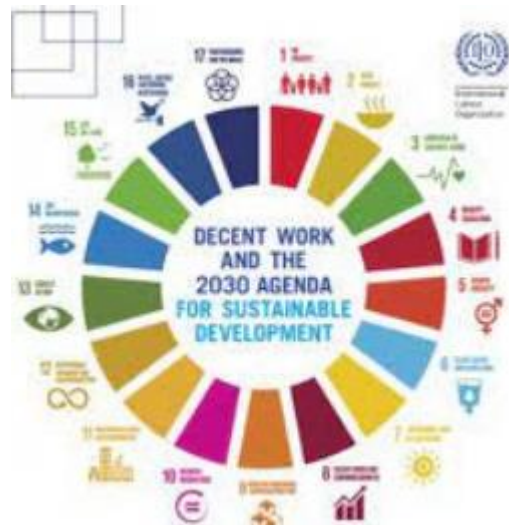
科学的知見に基づき、シナジーを高めるための具体的な政策手段を特定する努力を推進する

3

シナジー強化のための具体的な政策を実施するにあたり、様々なパートナーと協力して政策立案者向けのガイダンスを作成する

シナジー推進決議が各国に求めること

- a. 国際環境条約等の義務を実施する際、**シナジーを強化**
- b. シナジーの優良事例を収集・共有し、情報交換を強化し、**シナジーに関する知識と理解を深める**



- a. シナジーを強化するため、加盟国を支援。
- b. シナジーを改善するため、地域・世界プラットフォーム等を通じ、各国・パートナー・ステークホルダー間で、**シナジーの優良事例・ツール・教訓等を収集し、それらを統合・共有。**
- c. 決議の実施状況を次回の国連環境総会（2025年12月）にて報告。

タイトル	シナジー・協力・連携の国際環境条約及び他の関連環境文書の国内実施における促進に関する決議
共同提案国	フィジー共和国、カナダ、チリ共和国、スイス連邦、ノルウェー王国、ペルー共和国
概要	✓ 科学的知見によれば、環境に対する圧力と影響は増大している。 ✓ シナジー・協力・連携の強化がそれらを克服し、国の環境政策とアクションを進める鍵である。 ✓ シナジーが発現している好事例を収集・共有し、情報交換を促進することによって、シナジーに対する認識を高める。